

導入事例

テレワークによって生じるリスクを マネジメント/テクニカルの両面で診断 ニューノーマルな働き方の実現に貢献

テレワークの拡大に伴い セキュリティ強化が急務に

日本を代表する港湾都市として知られる神奈川県・横浜市。この地において、実に一世紀以上にわたり、地域の経済や暮らしを支えてきたのが横浜銀行である。その総資産額は国内の地方銀行でも第一位を誇る。2016年には東日本銀行との経営統合を実施し、新たな金融グループであるコンコルディア・フィナンシャルグループを設立。グループ経営ビジョン「従来の銀行を超える新しい金融企業」の下、地域の法人/個人顧客に対して多彩な金融ソリューションを提供している。

また、先進ICTの利活用に意欲的に取り組んでいるのも同行の大きな特長だ。横浜銀行ICT推進部 担当部長 砂田 浩行氏は「市場や社会の環境が大きく変化する中で、金融システムにもこれに即応できる柔軟性や俊敏性が強く求められるようになってきました。そこで当行としても、勘定系システムのオープン化/共同化やクラウド利活用の推進、データマネジメントの高度化など、様々な取り組みを進めています」と説明する。

顧客の大事な資産を預かる業種だけに、情報セキュリティに対する取り組みにも抜かりはない。各種のセキュリティ製品をフル活用し、メガバンク

に匹敵するセキュアな環境を構築。横浜銀行ICT推進部 坂本 廣助氏は「とはいえ、この分野においては、新たな脅威や攻撃手法が次々と生まれてきます。以前は安全だったものが今時点でも安全だとは限りませんので、システムの設計や監視、運用などについても、適宜見直しを行っています」と語る。

このようにビジネスの安心・安全確保に全力で取り組む同行だが、2020年にひとつの課題に直面することとなった。それはテレワークの急速な拡大である。「元々当行でも、働き方改革の一環として、テレワークの導入を進めていました。しかし、東京2020大会の開催やコロナ禍に伴い、その取り組みを急ピッチで進める必要に迫られました」と砂田氏。当然セキュリティに関しても、テレワークにしっかりと対応できる体制が求められることとなった。

テクニカル/マネジメントの両面で リスクアセスメントを実施

こうした状況を背景に、今回同行が実施したのが、テレワーク環境を対象としたリスクアセスメントである。「現在当行では、約1,000台規模の端末が自宅などでの業務に用いられています。もちろん、その展開にあたっては、細心の注意を



CONCORDIA
コンコルディア・フィナンシャルグループ

- お客様名：株式会社横浜銀行
- 資本金：2156億28万円
- 従業員数：4511人
- 所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1
- 公式HP：<https://www.boy.co.jp/>

■ ソリューション

- テレワークリスクアセスメントサービス
- テレワークテクニカルアセスメントサービス

■ プロジェクトのゴール

1. テレワーク環境における運用・ルール等に不備がないか診断すること
2. テレワーク端末の紛失や不正利用等に関わるリスクを診断すること

■ プロジェクト実施期間

- 2021年5月～6月



株式会社横浜銀行
ICT推進部 担当部長
砂田 浩行 氏



株式会社横浜銀行
ICT推進部
坂本 廣助 氏

払って対策を実施しました。しかし、当時は時間的な余裕がなかったこともあり、十分なアセスメントを行えませんでした。そこで、当時の対策が正しかったかどうか、改めて確認したいと考えたのです」と坂本氏は明かす。

今回の取り組みのポイントとしては、マネジメント/テクニカルの両面でアセスメントを行った点が挙げられる。「まずマネジメント面では、これまでに作成した規定や運用、ドキュメントなどが、テレワークでも漏れなく機能しているかどうか、またテクニカル面では、端末の紛失・盗難や、ID/パスワードの漏えいが発生した場合でも被害を防げるかどうかを確認しなかった。これらは車の両輪ですので、どちらが欠けても安全は確保できません」と坂本氏は語る。

アセスメントを担当するベンダーの選定にあたっては、シナリオや診断がある程度パッケージ化されていることを重視した。コストを抑えつつ、短期間で効率的なアセスメントが行えるというのがその理由だ。また、その他に、高い技術力を有していること、NIST*1の発行するSP800*2シリーズや総務省のテレワークセキュリティガイドラインなど、各種のベストプラクティスに基づくアセスメントが行えることなども要件として掲げられた。これらを満たすものとして導入されたのが、セキュアワークスの「テレワークリスクマネジメント」並びに「テレワークテクニカルマネジメント」サービスである。

「候補に挙がったベンダーの中には、マネジメント/テクニカルの両面を一気通貫してアセスメントを実施できるのはセキュアワークスだけでした。この点は選定の大きな決め手となりました」と坂本氏。

セキュリティ対策の実効性を無事確認することに成功

実際のアセスメント作業は2021年5月より

スタート。まずマネジメント面では、レビュー対象となるポリシーやガイドライン、手順書などをセキュアワークスに提示。その内容を精査すると同時に、ドキュメントだけでは分かりにくい部分については、担当者へのヒアリングなども実施した。

「アセスメント報告書では、ポリシーや教育、インシデント管理など、9つのセキュリティ領域ごとに、それぞれの成熟度がレーダーチャートで評価されます。現在の状況が一目で把握できますので、大変分かりやすかったですね」と坂本氏は語る。

また、テクニカル面では、同行が実際にテレワークで用いている端末と診断に必要な情報をセキュアワークスに分析を依頼。これをもとに、端末の紛失・盗難や内部不正、マルウェア感染など、幅広い側面からリスク評価を実施した。

約一ヶ月半にわたったアセスメントの結果も、非常に良好だったとのこと。砂田氏は「我々も対策に万全を期してはいましたが、それが本当に大丈夫なのかどうかは、実際に攻撃されてみないと分からない。その点、今回のアセスメントを実施したことで、当行のテレワーク環境がそう簡単に破られるようなものではないことを実証できました。これまでの取り組みが間違っていなかったことを確信できましたし、経営層にとっても大きな安心材料となりました」と力強く語る。

また、坂本氏も「特にテクニカルアセスメントについては、端末の細かな技術仕様まで綿密に診断されていたのが印象的でした。通常の診断ではそこまで確認しないだろうというところまでしっかりチェックしてもらえたので、アセスメントを実施して良かったと感じています」と続ける。

さらにコスト面でも、セキュアワークスのサービスを選んだメリットは大きかったと砂田氏は語る。「TLPT（脅威ベースのペネトレーション

テスト）などもそうですが、この分野ではあえて海外のベンダーを選定し、国内外からのあらゆる攻撃シナリオを想定してアセスメントを実施するケースも多い。その点、セキュアワークスのサービスであれば、国内外の事情を察知しつつ技術的な品質を担保した上で、比較的安価にアセスメントを実施できます。これは大きなアドバンテージだと感じましたね」（砂田氏）。

現場のDXを加速する攻めのセキュリティも推進

今回のアセスメントを実施したことで、同行では間近に迫っていた東京2020大会を安心して迎えることが可能に。また、今後の働き方改革を進めていく上でも、大きな弾みを付けることができた。

とはいえ、セキュリティ強化の取り組みに終わりはない。同行でも今回の診断結果を踏まえ、引き続き環境改善を推進中だ。さらに、その先に見据えているのが「攻めのセキュリティ」である。

「今後のDXに向けては行員端末のローカルブレイクアウトなども考慮していく必要があります。現場の進化を止めないためにも、スピード感を持ってセキュリティ対策を進めていきたい」と砂田氏。また坂本氏も「単に安全にシステムを利用できるというだけでなく、テレワークでもオフィスと変わらない業務環境を目指したいですね」と続ける。

パートナーであるセキュアワークスにかかる期待も大きい。「地銀はメガバンクほどの予算があるわけではないので、共同調達などの仕組みも考えてもらえればありがたい。当行も地銀トップ行としての責任を果たすべく、業界全体の安全に寄与していきたいと思います」と砂田氏は述べた。

*1 National Institute of Standards and Technology
*2 Special Publications

セキュアワークス株式会社

お問い合わせ SCWX_PreSales@secureworks.com 03-4400-9373 www.secureworks.jp

● Secureworks ロゴは、米国 Secureworks Corp の商標または登録商標です。● その他の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。● 記載内容は、2021年6月2日時点のものです。● 取材 2021年6月 ● サービスの提供内容は国によって異なります。Securework および Secureworks ロゴ、Counter Threat Unit (CTU)、および iSensor は、登録商標またはサービスマーク、もしくは米国およびその他の全ての製品とサービス、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。本カタログに記載されている仕様は2021年6月時点のものであり、予告なく変更する場合があります。最新の仕様については、弊社ホームページにてご確認ください。 Availability varies by region. ©2021 Secureworks, Inc. All rights reserved.

Secureworks®